

「さんべでミニ四駆」

1 趣 旨

- ・家族に体験活動プログラムを提供することで、家族の絆を深めるとともに、「早寝早起き朝ごはん」をはじめとした基本的な生活習慣を確立するきっかけづくりを行う。
- ・活動を通して、「ものづくり」の楽しさを体験し、科学を学び、科学への興味関心につなげる。

2 事業の概要

- (1) 期 日 ①令和2年11月21日(土)～22日(日) <1泊2日>
 ②令和2年12月5日(土)～6日(日) <1泊2日>
 ③令和3年1月9日(土)～10日(日) <1泊2日>
- (2) 会 場 国立三瓶青少年交流の家
- (3) 協 力 HOBBY SHOP 地球堂模型
- (4) 対 象 主として小学生とその家族
- (5) 参加者 ①22名(子ども11名 大人11名) 募集40名 申込31名
 ②61名(子ども31名 大人30名) 募集40名 申込72名
 ③22名(子ども13名 大人9名) 募集40名 申込58名
- (6) 講 師 HOBBY SHOP 地球堂模型 南條 達也 氏
- (7) 日程・内容

1日目	13:30	14:00	14:30	16:30 17:00 17:30 19:00				20:30	22:30	
	入 所	オリエンテーション はじめの会	I これがミニ四駆!! ～ミニ四駆を知り、作ってみよう～			休 憩	夕 食・入 浴・休 憩	II 選択活動 ①ミニ四駆コース体験 ②自主活動 ・カブラ ・所内でゆっくり など		就 寝 準 備
2日目	6:30	7:00	7:30	9:00	9:30	～	11:30	11:50		
	起 床	清 掃	朝 食・休 憩	退 所 点 検	III さんべミニ四駆カ ップで勝負!! ～ミニ四駆をもっと速 く走らせる工夫をし、 仲間と競争しよう～			お わ り の 会	解 散	

3 事業の特色

本事業は、ミニ四駆を作って実際に走らせる人気事業である。事業の特色として、1日目にミニ四駆を作り、ミニ四駆を走らせる過程で、2日目のレース大会に向け、どうしたら安定して速く走行できるのか、参加者自らが試行錯誤を重ねていくことが挙げられる。そのために、通常のミニ四駆作成後、大きさの違う改造パーツ(ローラー)を配布することで、パーツの組み合わせや取り付け方の工夫による走りの違いを考え、遊びながら学ぶ楽しさを感じることができるプログラム構成とした。また、完成したオリジナルミニ四駆の展示会を行うことで、ものづくりに対する創作意欲を高め、参加者の興味・関心につなげるようにした。

4 参加者へのアンケート結果

(1) アンケートの集計 (%)

	満足	やや満足	やや不満	不満
事業全体	100	0	0	0
プログラム	100	0	0	0
運営	97	3	0	0
職員の対応	100	0	0	0

(2) 参加者の声

- ・ミニ四駆の改造を親子で話し合いながら制作できて楽しかったです。生活面も普段は甘えてやらない子供たちが、「自分のことは自分で」の言葉で自発的にしており、時々はこのような環境に身を置くこともいいなと実感しました。
- ・今回、たっぷり時間をかけて工具を作ったり、いろいろ試行してみたりと子供も頑張ったようで、とてもいい表情を見せてくれました。
- ・今回のイベントは学びもあるし、余暇の広がりにもつながると思います。また次回も参加するとともに、たくさんの人に紹介したいと思います。

5 成果と課題

《成果》

- ・本所が大切にする「自分のことは自分で」を意識し、子供たちが進んで作業中に出たごみを片づけ、借りた道具をもとの場所に返却する等、机や床を常に清潔に保ち、活動に取り組むことができた。
- ・参加者は、自分で何度も試行錯誤を重ねて改造したミニ四駆でレースに挑んだ。レースに負けて悔しい思いをした後には、他の友達を一生懸命応援し、参加者全員の笑顔が絶えなかった。

《課題》

- ・本事業は、平成30年度から実施しており、3年目を迎えた。利用者からのニーズも高く、申込者数も募集人数を上回る人気事業であり、事業の運営や協力機関との連携も年々スムーズになってきている。また、昨年度からは実施回数を増やし、利用者のニーズに対応している。しかしながら、当所の「令和2年度教育事業等方針」では、教育事業について、「施設における事業バランスを考慮して、精選して実施する」としている。次年度以降の実施時期や実施方法については、「利用者のニーズ」と「教育事業の質の充実と普及」のバランスを考えながら、協力機関との協議を進めていく必要がある。



親子で作り方を考えながら制作



完成したミニ四駆の展示会



全体の様子

(担当：企画指導専門職付 福田将大)